

東北地方 1か月予報

(8月17日から9月16日までの天候見通し)

平成14年8月16日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の初めは、気温がかなり低く、東北北部では太平洋側を中心に日照時間が少ない状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

前半は、気圧の谷やオホーツク海高気圧の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。後半は、天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

なお、台風第13号が日本の南海上を北上していますので、今後の動向には注意して下さい。

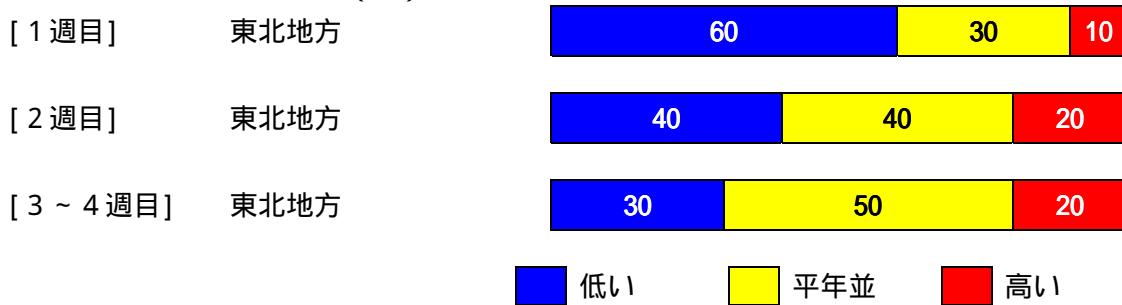
向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並、日照時間は平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は低く、2週目は平年並か低い、3～4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月17日(土)～9月16日(月)
1週目 : 8月17日(土)～8月23日(金)
2週目 : 8月24日(土)～8月30日(金)
3～4週目 : 8月31日(土)～9月13日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は8月23日
3か月予報：8月20日(火)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温(℃)		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	21.5	231.7	133.4	22.9	22.3	20.8
新庄	21.9	171.1	142.6	23.8	22.9	21.0
若松	22.8	136.2	164.1	24.7	23.9	21.9
深浦	21.4	179.7	170.0	23.0	22.3	20.7
青森	21.3	139.1	174.0	22.8	22.1	20.6
むつ	20.1	174.2	142.1	21.5	20.9	19.5
八戸	20.7	180.3	152.2	22.2	21.5	20.1
秋田	22.6	199.4	178.8	24.5	23.6	21.7
盛岡	21.1	189.3	135.3	23.1	22.2	20.2
宮古	20.7	218.0	138.2	22.2	21.6	20.0
酒田	23.0	201.7	180.1	24.9	24.0	22.2
山形	22.6	154.3	155.0	24.5	23.7	21.7
仙台	22.6	204.3	131.9	23.9	23.4	21.9
石巻	22.1	155.1	151.4	23.5	22.9	21.5
福島	23.4	164.6	132.7	25.1	24.4	22.6
白河	21.6	249.1	131.5	23.2	22.6	20.9
小名浜	23.1	175.2	166.5	24.1	23.8	22.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.4	82~117	92~106
東北日本海側	-0.5~+0.6	83~110	92~107
東北太平洋側	-0.3~+0.4	78~120	89~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.8	-0.6~+0.7	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.6~+0.8	-0.6~+0.7	-0.6~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.6~+0.8	-0.5~+0.8

(4) 接近する台風の平年値

	8月	9月
東北地方	0.7	0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年8月16日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(8月17日～9月16日)：

前半は、気圧の谷やオホーツク海高気圧の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。後半は、天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

なお、台風第13号が日本の南海上を北上していますので、今後の動向には注意して下さい。
平均気温は低いでしょう。

1週目(8月17日～8月23日)：

期間の初め、気圧の谷や前線の影響で東北南部中心に天気がぐずつきますが、その後は高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2週目(8月24日～8月30日)：

気圧の谷やオホーツク海高気圧の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4週目(8月31日～9月13日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。前線や低気圧の影響で曇りや雨となる時期もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

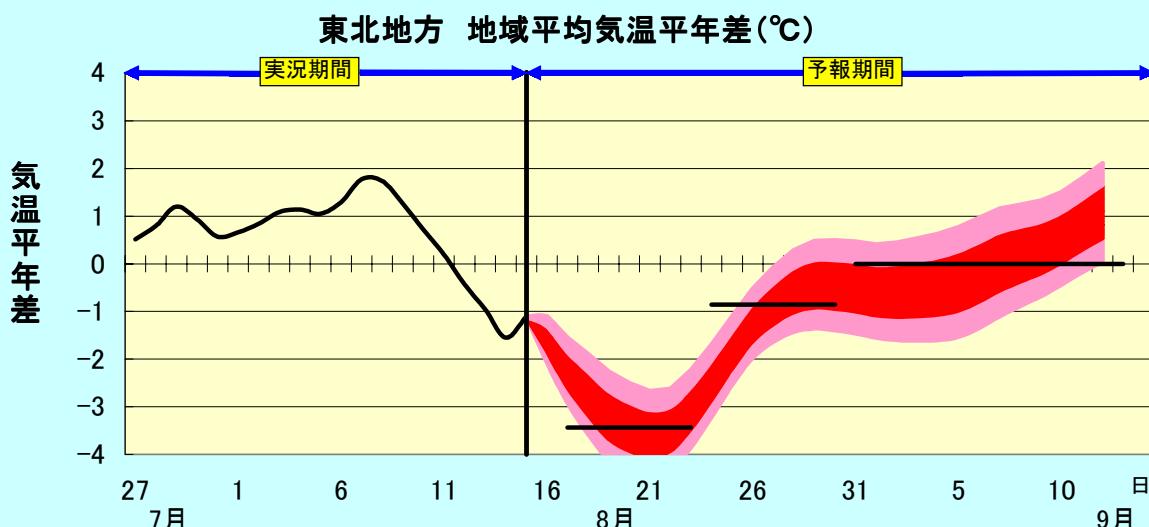
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	14.7日	3.9日	4.0日	6.8日
東北太平洋側	12.7日	3.3日	3.5日	5.9日

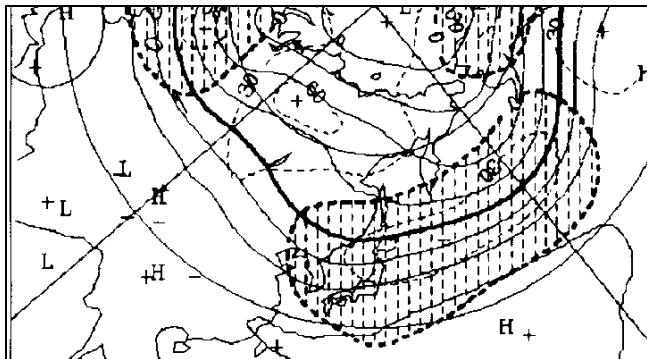
2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1、2週目は「低い」、3～4週目は「平年並」を予測している。

予報は、その他の資料より2週目を「平年並か低い」とし、1週目と3～4週目は数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。



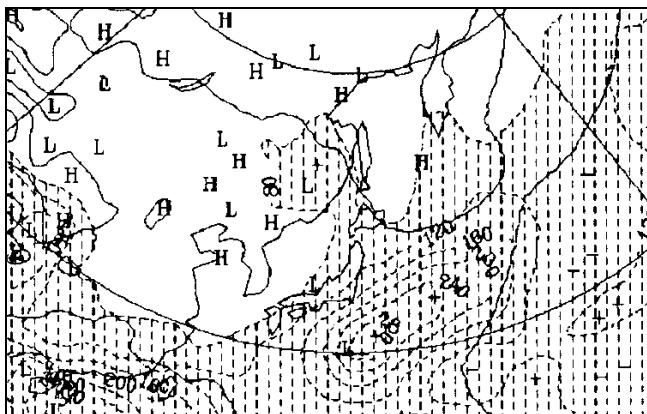
3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は広く負偏差に覆われる。特に北日本は負偏差が強く、寒気の影響を受け 1 週目を中心に気温が低くなる見込み。

週別（図略）では、1 週目は台風の影響もあり、極東中緯度帯は広く負偏差に覆われる。2 週目は太平洋高気圧の張り出しが日本の南で強いが、北への張り出しが平年並で、本州以北は負偏差に覆われる。3~4 週目は西谷傾向が見られるが、東西流が卓越しており、天気はおおむね周期的に変化する見込み。



地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本の南海上には台風に伴うまとまった降水域、中国東北区には気圧の谷に伴う降水域が予想される。太平洋高気圧の張り出しが、台風の影響もあって平年より弱い。

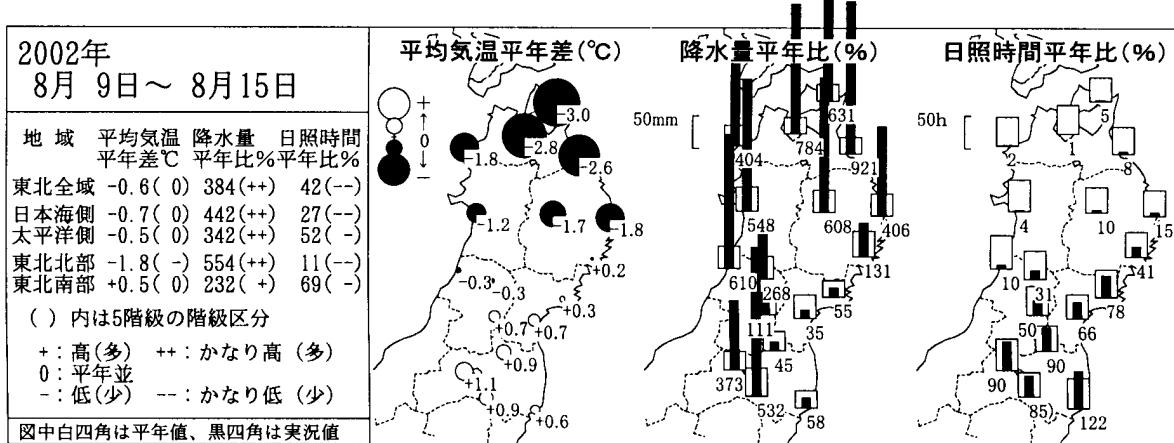
週別（図略）では、1 週目は日本の南海上には台風が、オホーツク海には高圧部が予想される。2 週目は日本の南海上が低圧部、北海道の東海上が高圧部となり、東よりの風の影響を受けやすい。3~4 週目の地上気圧はほぼ平年の分布。本州の南岸には前線に対応する降水が予想される。

4. 最近 1 週間（8月9日～8月15日）の天候の経過

東北北部は停滞前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が続き、11~12日や15日は各地で大雨となり、河川の増水や浸水害、交通障害などの被害が発生した。東北南部は、前半高気圧に覆われ晴れて厳しい暑さとなったが、後半は停滞前線や低気圧の影響で曇りや雨となった。

なお、14日に東北北部の日照不足と低温に関する東北地方気象情報を発表した。

平均気温は、東北北部で平年差-1.8 と低く、東北南部で平年差+0.5 と平年並だった。降水量は、東北北部で平年比554%とかなり多く、東北南部で平年比232%と多かった。日照時間は、東北北部で平年比11%とかなり少なく、東北南部で平年比69%と少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）